

母性看護学（講義4単位・実習2単位）（専門分野）

1. 母性看護学の考え方

母性看護学は、看護の対象である人間を母性の側面からとらえた学問である。母性の本質は生命の創造と育成であり、女性とその家族は社会の中に存在・生活し、成長・発達している。

近年、女性のライフサイクルにおいて男女関係のあり方や価値観が多様となり、親子・家族関係が複雑で希薄なため、女性や子どもの福祉・健康が脅かされる危険性が増してきている。また、生殖補助医療技術の進歩はめざましく、先端医療の恩恵を受ける女性が増加する中、生命に対する価値観も多様化し、生命倫理上の問題や身体への侵襲・精神的負担など、健康面に大きく影響している。このような背景の中で、次世代が健康に生まれ、より健康に育むための母性支援が必須である。母性看護学ではリプロダクティブ・ヘルス・ライツ（性と生殖に関する健康と権利）を学ぶ。さらに、学生自らの母性性の成熟と生命を尊重する態度を養い、女性とその家族の個別性に応じたセルフケア支援の基盤を教授する。以上の観点から、女性のライフスタイルや役割の多様性・医学の進歩・少子化・生活環境の変化などの広い視野に立ち、女性の一生を通じて健康の保持・増進、生活の質の向上を支援する看護師の役割を学ぶ。

2. 目的

女性の一生を通じた性と生殖に関わる健康の促進に向け、看護が必要な状況や援助方法について学ぶ。

3. 目標

- 1) 母性の特性および母性を取り巻く社会の現状を理解し、母性看護の意義と役割がわかる。
- 2) ライフステージ各期の対象を身体的・精神的・社会的側面から理解する。
- 3) 女性のライフサイクルにおける母性の健康と発達課題を理解し、看護の必要性がわかる。
- 4) リプロダクティブヘルスケアの観点から、人間の生命や健康にかかわる倫理について考える。
- 5) マタニティサイクルにおける母子の健康問題を理解し、看護実践能力を身に付ける。
- 6) 自己の母性（父性）を認識し、自己概念を発展させる。

4. 科目

母性看護概論	いのちを育む看護Ⅰ
母性の正常と異常	いのちを育む看護Ⅱ

専門分野・母性看護学 授業計画

授業科目及び時間数	母性看護概論 1単位 30時間		
開講時期	2年次 後期		
担当教員	松永則子	実務経験	有
<p><科目のねらい> 母性の特性を理解し、次世代が健康に生まれ育つことができるような母性への支援を学ぶ。</p> <p><到達目標> 1. 母性看護の対象を広義にとらえ生涯を通じた性と生殖に関する健康をまもる活動がわかり、時代の変遷とともに質的・量的に変化している母性看護の必要性を理解する。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 母性看護の基盤となる概念 1) 生命の誕生 2) 母性の概念・母性の発達	講義 ビデオ鑑賞 課題1	
2回目	1. 母性看護の基盤となる概念 1) 母子関係と家族の発達・機能 2) セクシャリティとセクシャリティの概念・発達と課題	講義	
3回目	1. 母性看護の基盤となる概念 1) リプロダクティブヘルス/ライツ リプロダクティブヘルス/ライツの概念・課題 2) 母性看護のあり方と倫理 母性看護の理念 生命倫理と看護倫理	講義	
4回目	1. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 1) 母性看護の変遷 2) 母子保健統計の動向 出生・死亡・人工妊娠中絶の動向	講義	
5回目	1. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 1) 母性看護に関する組織と法律 2) 母性看護に関する施策 妊産婦と乳幼児・生涯を通じた女性の健康支援 次世代育成支援 母子保健の国際化と在日外国人母子への支援	講義	
6回目	1. 母性看護の対象理解 1) 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化 2) 女性のライフサイクルと家族 3) 母性の発達・成熟・継承	講義	
7回目	1. 母性看護に必要な看護技術 1) 母性看護における看護の展開方法 2) 母性看護に使われる看護技術	講義	
8回目	1. 女性のライフステージ各期における看護 1) ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性 2) ライフステージ各期の健康問題と看護	講義	

9回目	1. 女性のライフステージ各期における健康問題や看護 1) 思春期・成熟期・更年期・老年期	グループワーク 課題2開始
10回目	1. 女性のライフステージ各期における健康問題や看護 1) 思春期・成熟期・更年期・老年期	グループワーク
11回目	1. 女性のライフステージ各期における健康問題や看護 1) 思春期・成熟期・更年期・老年期 各ライフステージ期における健康問題や看護の発表	グループワーク
12回目	1. リプロダクティブヘルスケア 1) 家族計画 家族計画とは・受胎調節法 2) 性感染症と予防	講義
13回目	1. リプロダクティブヘルスケア 1) HIVに感染した女性に対する看護 2) 人工妊娠中絶と看護 3) 喫煙女性の健康と看護	講義
14回目	1. リプロダクティブヘルスケア 1) 性暴力を受けた女性に対する看護 2) 児童虐待と看護 児童虐待の実態・対策・予防・予防に向けて	講義 課題3
15回目	終了試験	
評価方法	筆記試験 70% 課題レポート 30%	
受講生に対するメッセージ	自らの性および生命（いのち）と重ねながら関心を持ち、対象を尊重する看護が実施できるようになりましょう 課題の提出期限が厳守できない場合は減点となります	
テキスト	系統看護学講座 専門 母性看護学① 母性看護学概論 医学書院	
参考書	国民衛生の動向 2022/2023 厚生労働統計協会	

専門分野・母性看護学 授業計画

授業科目及び時間数	母性の正常と異常 1単位 15時間		
開講時期	2年次 前期		
担当教員	岩崎一憲・乙咩美里・山中浩史	実務経験	有
<p><科目のねらい> 性と生殖に関する機能を理解し、妊産褥婦および新生児の正常経過と異常について学ぶ。 <到達目標> 1. 妊娠・分娩・産褥・新生児の各期における病態の理解が深まり、より良い状態を目指す看護に繋げていける。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 出生前からの性と生殖に関する健康と権利 1) 遺伝相談 出生前診断 2) 不妊症と不育症の治療	講義	(乙咩)
2回目	1. 妊娠 1) 妊娠期の身体的特性 妊娠の定義と成立 胎児の発育と生理 2) 妊婦と胎児の健康状態の診断	講義	(山中)
3回目	1. 分娩 1) 分娩の要素 2) 分娩の経過 3) 産婦と胎児の健康状態の診断 2. 産褥経過と診断	講義	(山中)
4回目	1. 新生児 1) 新生児の生理 2) 新生児の健康状態の診断 3) 新生児の異常 新生児仮死・分娩外傷	講義	(山中)
5回目	1. 妊娠・分娩・産褥の異常 1) ハイリスク妊娠 2) 妊娠期の感染症 3) 妊娠の異常 流産・早産・過期妊娠・異所性妊娠・妊娠高血圧症候群	講義	(岩崎)
6回目	1. 妊娠・分娩・産褥の異常 1) 分娩の異常 産道の異常・娩出力の異常・胎児および付属物の異常 胎児機能不全・分娩時異常出血・産科処置と手術の適応	講義	(岩崎)
7回目	1. 妊娠・分娩・産褥の異常 1) 産褥の異常 子宮復古不全・産褥感染症・産褥血栓症・精神障害	講義	(岩崎)
8回目	終了試験		(岩崎)
評価方法	筆記試験 100%		
受講生に対するメッセージ	対象者の経過にそって系統的に、母性看護を学んでいきましょう。		
テキスト	系統看護学講座 専門 母性看護学各論 母性看護学② 医学書院		
参考書	病気がみえる⑩産科 メディックメディア		

専門分野・母性看護学 授業計画

授業科目及び時間数	いのちを育む看護Ⅰ 1単位 30時間		
開講時期	2年次 前期		
担当教員	松永則子	実務経験	有
<p><科目のねらい> マタニティサイクルにおける健康支援と健康問題に対する看護を学ぶ。</p> <p><到達目標> 1. 女性のライフステージにおける家族・地域社会と幅広い対象者の正常な経過の看護を理解し周産期の異常を持つ対象者への健康問題解決や健康の維持増進への支援がわかる。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 妊娠期における看護 1) 妊婦の心理・社会的特性と家族心理 2) 妊婦・胎児の看護アセスメント	講義 演習 - グループワーク	
2回目	1. 妊娠期における看護 1) 正常な妊娠経過の看護 2) 計測・触診・聴診・栄養・体重管理・喫煙・飲酒 3) 妊娠中のマイナートラブル	講義	
3回目	1. 妊娠期における看護 1) 妊娠期における看護技術 (計測・触診・聴診)	演習	
4回目	1. 妊娠期における看護 1) 親になるための準備教育 分娩準備教育・母親学級・バースプラン・出産場所 2) 正常からの逸脱時の看護 悪阻・貧血・切迫早産・前置胎盤 常位胎盤早期剥離・破水・妊娠高血圧症候群	講義	
5回目	1. 分娩期における看護 1) 産婦の心理・社会的特性と家族心理 2) 産婦・胎児の経過の診断とアセスメント 3) 正常な分娩経過の看護 夫・家族支援・産痛の緩和、呼吸法	ビデオ視聴 グループワーク	
6回目	1. 妊娠期における看護 1) 分娩各期の看護の実際 2) 正常な分娩から逸脱時の看護 胎児機能不全・異常分娩 (吸引 鉗子 帝王切開術) 弛緩出血・頸管裂傷・膣、会陰裂傷	講義	
7回目	1. 産褥期における看護 1) 褥婦の看護アセスメントと褥婦の健康を整える看護 産褥の経過 (全身の変化・進行性変化・退行性変化) 2) 褥婦の心理・社会的特性と家族心理 精神、心理的生活行動・社会的生活行動	講義	
8回目	1. 産褥期における看護 1) 褥婦の日常生活とセルフケア 2) 親役割への支援	講義	
9回目	1. 産褥期における看護 1) 乳房のケア 乳房の解剖・乳汁分泌機序 乳房の模型づくり・乳房マッサージ	講義 演習 - グループワーク	

10 回目	1. 産褥期における看護 1) 正常産褥からの逸脱時の看護 子宮復古不全・産褥期の発熱・乳房トラブル 精神障害	講義
11 回目	1. 産褥期における看護 1) 産褥期における看護技術(乳房の観察とケア・子宮底測定)	演習
12 回目	1. 新生児期における看護 1) 新生児の生理 新生児とは(新生児の定義・新生児の呼び方・姿勢) 2) 新生児の観察とアセスメント 呼吸、循環の適応・呼吸・体温・生理的黄疸 皮膚・反射・体重	講義
13 回目	1. 新生児期における看護 1) 新生児期における計測とケア (バイタルサイン測定・身長、体重測定・更衣・おむつ 交換・排気法)	演習
14 回目	1. 新生児期における看護 1) 新生児の看護 出生直後・出生後から退院まで 代謝異常検査・K2シロップ投与 2) 新生児の異常と看護 新生児仮死・分娩外傷・高ビリルビン血症 産瘤、頭血種・ビタミンK欠乏性出血症	講義
15 回目	終了試験	
評価方法	筆記試験 100%	
受講生に 対する メッセージ	母性看護学は、母性特有の専門用語が多く慣れるのに大変だとは思いますが。一つひとつ丁寧に理解していけると意味が分かり、周産期が繋がります。母性看護に対する不安が軽減します。実技は繰り返し練習しましょう。	
テキスト	系統看護学講座 専門 母性看護学各論 母性看護学② 医学書院	
参考書	病気がみえる⑩産科 メディックメディア 根拠と事故防止からみた母性看護技術 医学書院	

専門分野・母性看護学 授業計画

授業科目及び時間数	いのちを育む看護Ⅱ 1単位 15時間		
開講時期	2年次 後期		
担当教員	細谷真貴子	実務経験	有
<p><科目のねらい> 母性看護を実践するために必要な看護の展開方法を学ぶ。 <到達目標> 1. 母子の健康問題を判断し、対象のセルフケア能力を高める看護を考えることができる。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 看護の展開方法	講義	
2回目	1. 周産期事例による看護の展開方法 1) 妊娠期	講義・演習・グループワーク	
3回目	1. 周産期事例による看護の展開方法 1) 分娩期	講義・演習・グループワーク	
4回目	1. 周産期事例による看護の展開方法 1) 産褥期	講義・演習・グループワーク	
5回目	1. 周産期事例による看護の展開方法 1) 産褥期	講義・演習・グループワーク	
6回目	1. 周産期事例による看護の展開方法 1) 褥婦と新生児	講義・演習・グループワーク	
7回目	1. 周産期事例による看護の展開方法 1) 産褥期における保健指導	講義・演習・グループワーク	
8回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 50% 事例展開 50%		
受講生に対するメッセージ	展開の速い周産期です。 母性看護の対象者を大切にできるように学んでください。		
テキスト	系統看護学講座 専門 母性看護学各論 母性看護学② 医学書院		
参考書	病気がみえる⑩ 産科 メディックメディア 根拠と事故防止からみた母性看護技術 医学書院		